

Air bike

取扱説明書

bicycle-358 assist 電動自転車

自転車を安全・快適にご使用いただくため必ずお読みください。



いつまでも安全にお乗りいただくために、
電動自転車の正しいご理解とご使用をお願いいたします。

◆仕様、その他の変更などにより、画像や内容が一部実車と異なる場合があります。

■この度は《Air bike》をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

《Air bike》は、電動アシスト走行機能を搭載した自転車です。

ご使用前に、安全上に関しますご注意くださいをよくお読みの上、正しくお使いください。

本製品は組立が必要です。

組立が完了し、自転車のご乗車前には必ず説明書の記載事項をご確認いただきまして、自転車の点検・調整を行なった上でご乗車ください。

ご使用前に

- 未組立や未調整の自転車には乗らないでください。
- ブレーキやハンドル・サドル・車輪の固定、タイヤの空気圧などの乗車前点検は必ず行ってください。
- 各部品が正常に取り付けられていることをご確認ください(「各部名称」ページ参照)。
- 改造しないでください。
- 安全に長くお乗りいただくためにも、定期的に弊社または自転車に関する整備士、それと同様の技術を有する者による点検を受けてください。
- 購入後2ヶ月以内は、ネジや各取り付け部品のなじみなどの影響でゆるみが生じやすくなっています。ネジ等にゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は、増し締めを行ってください。
- 初期の点検・確認をされずにご乗車された際の故障は有償でのご修理となります。
- 水圧のかかる洗車や雨天でのご使用、雨つゆや直射日光のあたるような場所での保管は、錆や故障の原因となる場合がありますので、十分ご注意ください。
- 不安定な場所に自転車を保管しないでください。
- タイヤの空気入れは米式バルブです。ホームセンター・自転車販売店でもお求めいただけます。
- 飲酒時やかぜ薬を服用したとき、体調の悪いときは乗らないでください。
- ハンドルに手荷物やペットのリードをつないでの使用はおやめください。
- 滑りやすい靴やかかとの高い靴、サンダル等を履いて乗らないでください。ペダルから足がずれやすくなり、大変危険です。
- 二人で乗らないでください。ハブステップを取り付けての乗車は大変危険です。また、二人乗りで使用された場合は、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- かさをさして乗ったり、片手運転や手放し運転はしないでください。
- かさやステッキなどの棒状のものをぶら下げたり、差し込んだりしないでください。
- 下り坂や雨の日、ぬれた路面等は大変危険です。スピードを出しすぎないでください。
- スピードの出しすぎでの急ハンドル、急カーブはおやめください。
- 自動車の横を走行するときは、必ず安全を確認してください。
- 凹凸の激しいところでは乗らないでください。
- 巻き込まれやすい服装(裾の長い服や生地の薄い服、マフラー等)では乗らないでください。
- 乱暴(アクロバットの)な運転はしないでください。
- 視界の悪いとき(夜間や雲天)、無灯火で乗らないでください。
- 自転車の走行以外の目的では使用しないでください。
- 交換部品は必ず純正部品を使ってください。
- 異常がある場合は乗らず、すぐに販売店へご相談ください。
- 防犯上の観点から、弊社では自転車固有の車体番号を記録・保存していません。
- 自転車防犯登録は、自転車に問題がないことを確認した後に行ってください。万一、防犯登録後に初期不良が発見された場合は、自転車返送前にお客様側にて防犯登録の解除をお願いする場合がございます。
- 自転車の梱包材(外箱等)は、自転車の初期不良がないことを十分に確認した上でご処分ください。初期不良ご対応期間は商品到着から8日以内です。梱包材を処分された後、弊社に自転車を返送していただくことになった場合、初期不良後対応期間であっても自転車の梱包材(500円~1,000円)をご負担いただくこととなります。※自転車の梱包材は安心修理サービスご利用の際にもお使いいただけますので、可能な限り保管をお勧めいたします。

前輪ロックに注意してください

前輪ロックとは、走行中に前輪の回転が急に停止してしまう状態を指します。衝突と同程度の衝撃があり、前のめりに転倒して非常に危険です。前輪がロックされる原因には下記のものがあります。

- ・ハンドルにぶら下げたバッグ等が前輪や前輪と車体との間に入ったとき。
→ハンドルにバッグ等をぶら下げないでください。
- ・前カゴに入れた細いひも状のもの等が前輪の間に挟まったとき。
→ペットのリードなどが巻き込まれて事故を起こす原因となることもあります。
前カゴ、ハンドルには細いひも状のものを入れたりつけたりしないでください。
- ・スピードを出して、前ブレーキのみをかけたとき。
→ブレーキをかける際には、必ず両ブレーキをかけてください。
また、スピードの出しすぎには十分注意をしてください。
- ・スポーク切れやその他の原因によって、リムが横振れしてタイヤと車体が接触したとき。
→定期的に点検を行ってください。
- ・何らかの原因でフロントフォークが曲がっていたり、ネジがゆるんでいたりして、ブレーキゴムがタイヤと接触したとき。
→定期的に点検を行ってください。
- ・前輪のネジがゆるんで車輪が傾いたことにより、タイヤと車体が接触したとき。
→定期的に点検を行ってください。
- ・外部から異物が車輪の間に入ったとき。

禁 止 事 項

※2 ページの「ご使用前に」に記載されている注意事項と併せてご確認ください。(重複している項目もございます)

- カーブではスピードを出さないでください。曲がり切れずに転倒する等の事故を起こす可能性があります。十分に速度を落としてからカーブに入ってください。
- 無灯火で乗らないでください。
- 走行中にブレーキワイヤーを引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。事故の原因となります。
- カーブでは曲がる側のペダルを下にしたまま走行しないでください。ペダルが地面と接触して、転倒や事故の原因となります。
- 滑りやすい場所や状況では使用しないでください。雪道や凍結した道、鉄板やマンホールの上など、滑りやすい場所では一旦自転車を降りて、押して通るか避けて通るなどご注意ください。
- 視界の悪い状況では使用しないでください。非常に危険です。
- 滑りやすい靴やかかとの高い靴、サンダル、下駄等を履いて乗らないでください。ペダルから足がずれやすくなり、大変危険です。
- ご乗車時にはギアやチェーンなどに巻き込まれやすいような服装は避けてください。(裾の長い服や生地が薄い服、マフラー等)
- 片側だけのブレーキ操作はおやめください。走行バランスを崩すことがあり、大変危険です。
- 急ブレーキをかけないでください。タイヤがロックされたり、スリップして転倒事故の原因となります。
- 凹凸のある道、段差の激しい道は走らないでください。簡易舗装道路や工事中の場所・道、砂利道は非常に滑りやすくなっています。また、バランスを失うこともあり大変危険です。階段や軌道敷内の走行もおやめください。
- 二人乗りやアクロバットの的な使用はおやめください。二人乗りは法令により禁止されています。
- 後輪にハブステップをつけての二人乗りはおやめください。保証の適用外にもなりますので、十分ご注意ください。
- 自転車を改造しないでください。改造された自転車は保証適用外になります。
- 濡れた道や下り坂では、スピードを出さないでください。これらの条件下では、通常の路面と比べて制動距離が長くなります。適切なスピード(徐行)と余裕のあるブレーキ操作を心掛けてください。
- 荷物を手やハンドルにかけての乗車はしないでください。また、かさやステッキや釣竿など、長尺物を自転車に差し込んだり下げたりはしないでください。バランスを崩したり、回転部分にはさまったり車輪をロックさせる可能性があるため、大変危険です。

禁 止 事 項

※2 ページの「ご使用の前に」に記載されている注意事項と併せてご確認ください。(重複している項目もございます)

- 踏み台に使用する等、本来の使用目的(走行)以外での使用はおやめください。バランスを崩して、転倒や怪我の原因となります。
- 山岳・河川等で使用しないでください。ハンドルやフレーム、自転車の重要部分に重大なダメージを与えたり、破損の原因となります。これらの場所や類似する場所での走行は絶対におやめください。
- 薬やアルコール等を摂取した状態で乗らないでください。また、体調の悪いとき(体力の低下や疲労時)の乗車もお控えください。
- 自転車に異常があるときは使用しないでください。異常があるまま走行すると、車体や部品の破損原因となり、転倒や事故などの深刻な事態を引き起こします。
- ブレーキパッド、ブレーキシュー、リムに注油はしないでください。ブレーキが正常に作動せず、大変危険です。
- 二台以上で走行するときは、横にならでの走行はおやめください。
- イヤフォン、ヘッドフォンを使用しての走行はおやめください。
- 転倒時の二次的災害を避けるため、必要以上の装備を持ってのご使用はおやめください。

自転車に異常を感じたら、ただちに使用を中止し、点検・整備を行ってください。
修理が必要な場合は、お早めに販売店にご相談ください。

お手入れと保管について

- 走行後は乾いた布やブラシで、泥や土・埃などを落としてください。
- 雨に濡れたときは、乾いた布でよく拭いたあと、ブレーキレバー可動部、チェーン、リヤに注油してください。
- メッキ部分は乾いた布で良く拭いたあとに、錆止め油もしくは機械油を染み込ませた布で拭いてください。また、この時表面に余分な油が残らないよう、再度乾いた布で仕上げ拭きしてください。
- 塗装面は良く汚れを落としたあとに乾いた布で表面を拭き、自転車用のワックス等を使用して、塗装を保護してください。また、塗装面にはシンナーなど有機溶剤を使わないでください。
- 湿度の高い場所や、高温になる場所に保管しないでください。錆や部品変形の原因になります。
- 雨のかかる場所での保管はおやめください。カバーをかぶせるなど、水気があらないように保管してください。
- 直射日光の当たる場所に放置しないでください。日光に含まれる紫外線は塗装面やタイヤを含む樹脂部品の劣化を早めて、損傷に繋がる恐れがあります。
- サドルやブレーキレバー、グリップには注油しないでください。操作の際滑ることがあり、大変危険です。
- タイヤには油をつけないでください。劣化やスリップの原因となり、大変危険です。
- リムやブレーキシューなどの制動面には注油しないでください。正常に作動できなくなり、大変危険です。

消耗品とご修理について

- タイヤ、ブレーキワイヤー、ブレーキシュー等は消耗品です。お求めの際には、販売店までお問合せください。価格および納期をご案内させていただきます。※在庫状況によりましては、海外の工場よりお取り寄せとなる場合がございます。その場合は、入荷まで1ヶ月以上お待ちいただくこともございます。
- ◎お取替えの目安
 - ・ブレーキワイヤー：ブレーキワイヤーに錆が見られた場合、ほつれがある場合。あるいは、1年以上使用を続けている場合。
 - ・タイヤ：タイヤの接地面の溝が一部でもなくなった時、キズや亀裂、シワが現れた時。
 - ・ブレーキシュー：制動面の溝が残り1mm以下になる前に交換ください。
- お求めの自転車には5年間の安心修理サービスが付いております。詳細は15ページのご案内をご確認ください。

■主な各部の名称

- | | | |
|------------------|-------------------------|-------------|
| 1…ハンドル | 8…サドル固定具レバー | 16…反射板 |
| 2…ブレーキレバー | 9…ペダル | 17…後タイヤ |
| 3…ブザー
ライトスイッチ | 10…ギアクランク | 18…ホイールロック |
| 4…残量計 | 11…電源スイッチ
& バッテリーロック | 19…アシストセンサー |
| 5…ライト | 12…充電ジャック | |
| 6…前タイヤ | 13…ヒューズ BOX | |
| 7…サドル | 14…チェーン | |
| | 15…スタンド | |

付属品

- ◎説明書 ◎充電器
- ◎ペダル ◎サドル
- ◎工具 ◎鍵
- ◎予備ヒューズ



●残量計について

フル充電時には、左端のLEDライト (Empty) 以外が全て点灯します。残量が無くなってくると消灯していきますので、早目の充電を行ってください。残量がなくなると左側から2個目 (最初消灯のランプ) がオレンジ色になります。

この自転車はパーツが分かれて梱包されており、ご購入者様に組み立てていただき、調整をしていただく必要がありますのでご案内いたします。なお、付属以外の工具につきましては、お客様にてご用意いただきますようお願いいたします。

■ハンドルの取付



①ハンドルを差し込み、ハンドルが前タイヤに対し90度(直角)になるように方向を合せます。

⚠注意

ハンドルの引き上げ限界線が見えない位置まで必ず差し込んでください。ハンドルの折れや抜けにより事故の原因になるおそれがあります。



②お好みの高さに調整して、六角レンチでステムのボルトをしっかりと締付けてください。

⚠注意

ボルトをしっかりと締め付けた後、ハンドルが左右に動かない事を確認してください。

ハンドル [A] の部分のネジを緩めるとハンドル角度の調整が可能です。お好みの角度に調整した後、再度しっかりと締め付けて下さい。

①初期出荷状態では、ハンドル角度は標準の位置で取り付けられています。

②角度調整をしない場合でも、必ずネジに緩みがないか確認してください。



■ サドルの取付



① サドルを差し込み、高さを調整した後固定レバーをしっかりと締め付けてください。

⚠ 注意 サドルの引き上げ限界線が見えない位置まで必ず差し込んで下さい。サドルの折れや抜けにより事故の原因になるおそれがあります。



② お好みの高さに調整して、固定レバーでしっかりと締め付けてください。

⚠ 注意 ボルトをしっかりと締め付けた後、サドルが左右に動かない事を確認してください。

★組み立ての手順の動画が見られます★ <http://dream.santasan.net/bicycle-setup/>
 上記 URL へアクセスしていただきますと、自転車の組み立てとブレーキ調整の説明動画をご覧いただけます。
 ※お持ちの車種を選んでご覧ください。組み立てやブレーキ調整が分かり難い場合は、こちらをご参照ください。

 説明書や動画をご覧いただいても分からない場合は、お気軽にお問合せください。
 メール：santasan@santasan.net お電話：072-672-7643[平日午前 11 時～午後 4 時]
 FAX：072-672-7674[24 時間受付]

■ペダルの取り付け方

この面に刻印があります。



右足側→Rの刻印
左足側→Lの刻印

ペダルには左右の区別があります。ペダルを取り付ける際には、先ずペダルの左右を確認してください。ペダルの左右はネジ山先端部分(平面になっている箇所)に刻印されています。

取り付けの際は、下記の説明を確認しながら正確に取り付けてください。また、ペダルは車体に向かってまっすぐに取り付けてください。

※右ペダルの取り付け方



Rの刻印のあるペダル

※右ペダルは時計回しに取り付けてください。

※左ペダルの取り付け方



Lの刻印のあるペダル

※左ペダルは時計と逆回しに取り付けてください。

注意

ペダルが入りにくいときは無理せずに、再度左右を確認してください。

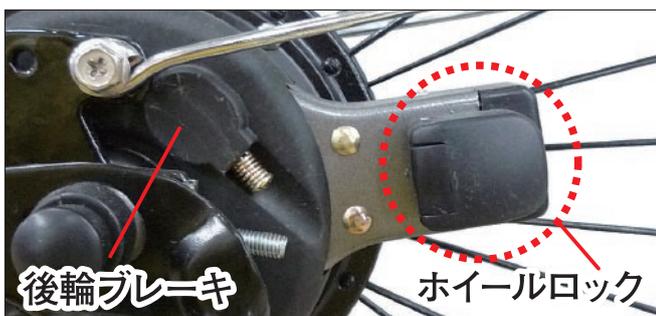
無理矢理ペダルをねじ込んで装着されますと、大変不安定になるだけでなく、クランクのネジ山が削れてペダルが脱落し、大変危険です。また、クランクの修理も不可能になりますので、十分にご注意ください。

※ペダルの取り付け不良による故障は、初期不良期間中でも有償での修理となります。

■ホイールロック(防犯ロック)について

この自転車は、後輪部分(後輪ブレーキ部)にホイールロックが取り付けられているタイプです。

●防犯ロックの仕方



後輪ブレーキ

ホイールロック

①後輪のブレーキ部分にホイールロックが取り付けられています。



②ホイールロックのカバーを横に開くと鍵穴が出てきます。



③鍵穴に鍵を差し込んで反時計回りに回すとロックします。時計回り(右)…開錠/反時計回り(左)…施錠



※ロックして鍵を抜いた後、タイヤを少し回してカチッと音がすれば後輪がロック状態となります。

注)このロック錠は特殊な構造の為、破損や故障・鍵紛失をした場合はロック錠ごとすべてのお取り換えとなります。お取り換えはメーカーにて有償対応となりますのでご交換をご希望される方は「Santasan」までご連絡ください。また、鍵の紛失には十分お気をつけくださいませ。

■電源のON・OFFと残量計について

バッテリーにある電源スイッチをONにすると電源が入ります。残量計は常時点灯はいたしません。必ず電源をONにしてご確認ください。残量がなくなってくると消灯していきますので、充電を行ってください。



電源スイッチ
& バッテリーロック



残量計

※バッテリーに関する注意事項

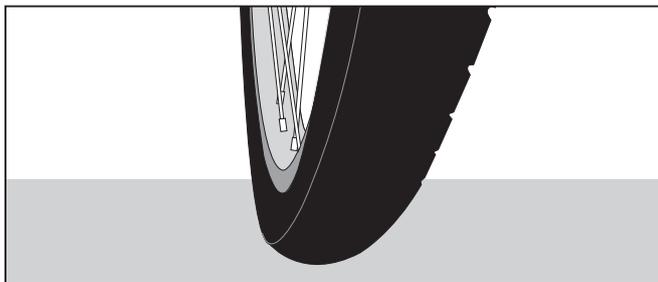
- バッテリーは重量があるので、お取り扱いには十分お気をつけください。
- 充電完了の合図になりましたら、早目に充電器をコンセントから外してください。
- 残量計の点灯が少ない場合は、早目に充電を行ってください。
- 専用の充電器以外でバッテリーを充電しますと、バッテリーの発熱・破損・発火の原因になります。専用充電器以外は、絶対に使用しないでください。
- 専用充電器を水没させたり、雨中に放置しないでください。濡れたままご使用になりますと、火災の原因となり大変危険です。また、充電中にバッテリーを破損させることがあります。
- 充電する場所は、下記を満たす場所を選んでください。また、屋外での充電には注意してください。安定がよいところ、水にぬれないところ。直射日光を避け、風通しがよく湿気のないところ。
- 充電ができなかったり、充電しても電源が入らない場合は、ヒューズが切れている可能性がありますので、ヒューズボックスをご確認いただき、切れている場合は交換を行ってください。また、すぐにヒューズが切れてしまう場合は、故障の可能性がありますので、販売店までご相談ください。

バッテリーの取り外し・取り付け方法及び、充電方法はP10～P13を参照してください。

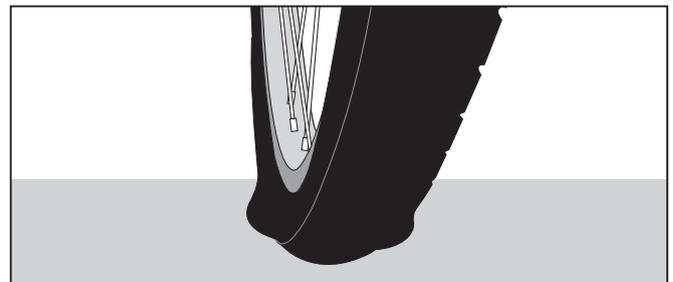
■タイヤの空気圧について

タイヤの空気圧が減った状態で走行するとタイヤに負担がかかり、タイヤの消耗やチューブの劣化が早くなります。自転車にお乗りする前に、こまめに空気圧の確認をして頂き、減っているのであれば空気ポンプで空気をお入れください。(タイヤの消耗を軽減する事が出来ます。)

※特に後輪側はリアキャリアに後ろカゴ、チャイルドシートを取り付けるとタイヤに負荷がかかりやすくなりますので空気圧のチェックは怠らないようにしてください。



空気がしっかり入っている状態



空気が抜けた状態

■走行距離に影響を与える状況・環境 (1回の充電による走行距離は、下記の状況や環境により大きく左右されます。)

<p>冬期、寒いとき (寒い環境・約5℃以下では、バッテリーの性能が低下します。)</p>	<p>急な坂道するとき</p>	<p>向かい風のとき</p>	<p>タイヤの空気圧が低下しているとき</p>
<p>乗員体重、積載質量(荷物)が重いとき</p>	<p>発進、停止の回数が多いとき</p>	<p>路面の状況が悪い(凸凹みち)とき</p>	<p>ペダルが重くなる走り方をしたとき (例えば、重い変速位置で走行)</p>
			<p>ライトを長時間点灯したとき</p>

Air Bike

バッテリー充電かんたん手順

電気自転車は充電が必要な商品です。

① バッテリー充電前の準備 (バッテリーの取り出し)

●各部の名称



1

●拡大写真
電源キー



電源キーに鍵を差し込みます。



サドル下のレバー

4



サドル下のレバーを押さえながら、サドルを前に倒します。

●購入後の電話サポートはこちら

TEL:072-672-7643 (平日11:00~16:00)

●FAX・メールでもサポートします。

FAX:072-672-7674 | E-Mail:santasan@santasan.net



①鍵を奥に押しながら ②左に回す。



ロックを解除します。



バッテリーの取っ手を持ち上げます。



バッテリーを上(矢印の方向)に引き上げ取り出します。

② バッテリーを充電



充電器とバッテリーを準備

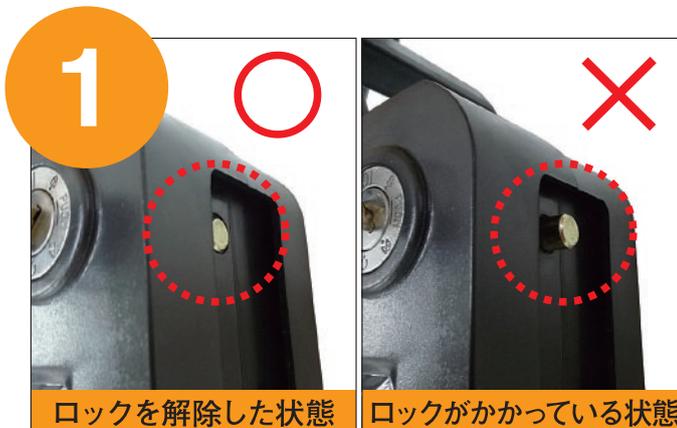


奥までしっかりと差し込んでください。



ご家庭のコンセントに電源プラグを差し込みます。

③ 充電後バッテリーを自転車本体に装着



バッテリーロックが解除されている事を確認してください。



バッテリーをガイドに沿って矢印の方向にしっかりと差し込みます。



充電接続プラグを充電器に差し込みます。



充電ジャックをバッテリーの充電ジャックに差し込み口に差し込みます。



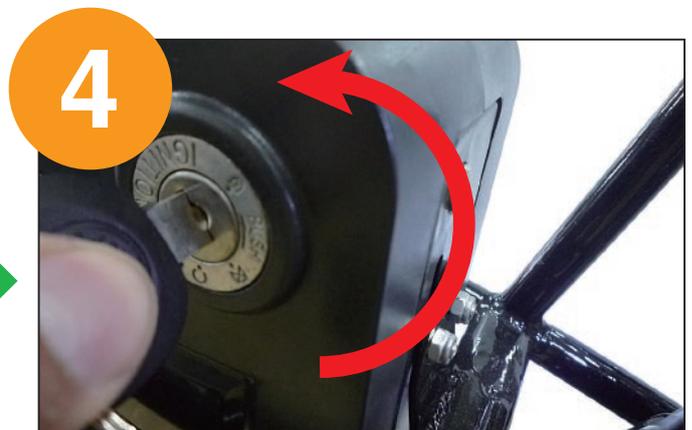
充電中は赤のランプが点灯します。



充電完了に近づくにつれて、赤のランプから緑のランプ点灯に変わって充電完了。



カチッと音がするまで右に回しバッテリーをロックします。



注意) 電源ON状態の時は鍵を抜くことが出来ません。左に一度鍵を回して、電源OFF状態にすると鍵を抜くことが出来ます。

商品がお手元に届きましたら

まずは商品の状態を確認してください。お届けには万全を期しておりますが、商品の不具合や欠損がないか、必ずご確認ください。

(お客様のご都合により、開封が遅れた商品へのご対応は致しかねますので、予めご了承ください)

初期不良について

初期不良のご申請期間は、商品到着日より8日間とさせていただきます。商品到着後、何か不具合等がございましたら、まずは販売店までご連絡ください。ご修理もしくはご交換にてご対応させていただきます。ご返送方法や詳細につきましては、販売店までお問合せください。

保証の適用除外

- 保証期間が経過している場合。
- 使用者の不注意、使用方法に起因する不具合や消耗品について。
- お近くの自転車屋さんや、他店様でご修理、または改造された場合。
- 衝突／転倒／道路の段差等に乗り上げ、または溝等に落ちて生じたもの。
- 法令の違反行為(最大積載量オーバー、二人乗り等)によって生じたもの。
※後輪にハブステップをつけられての二人乗りによって生じた故障は保証適用外です。
- 保守／点検の不備または間違いによって生じたもの。
- 酷使または一般に自転車が走行しない場所での走行により生じたもの。
(道のない山岳ツーリング、道のない土手の傾斜面等)
- 地震、落雷、火災、水害、公害、その他人災、天災、地変によって生じたもの。
- 手入れ不十分、保管場所の不備、及び時の経過により生じた塗装面、メッキ面、その他これに類する不具合、及びプラスチック部品等の自然退色、部品の通常の摩耗または疲労と認められたもの。(タイヤ、チューブ、ブレーキ用ゴム等のゴム類)
- くぎ、ピン、ガラス、切削くず、鋭利な石ころ等で生じるパンク。
- 一般に機能上の影響のない感覚的症状。(音、振動等)
- 再販でご購入された場合や、その他販売店の判断に基づき有料と認められる場合。

「自転車防犯登録」について

防犯登録について、ご購入後の盗難に関する責任は弊社では一切負いかねますので、防犯登録はお客様の責任において行ってください。自転車防犯登録は都道府県毎に管理されております。お近くの自転車防犯登録所(自転車販売店、ホームセンター等の自転車を販売している所)にて、自転車本体・身分証明書・弊社の納品書をお持ちいただき、自転車防犯登録を行なってください。(販売証明書が必要な場合はお気軽にご連絡ください)

※防犯登録の前に、必ず商品の検品を行ってからご加入ください。万が一防犯登録後に不良などにより返品される場合は、返品前に防犯登録の解除をお願いすることになります。

※料金は各地域によって異なりますが、500円~1,000円程度が一般的です。

※電動自転車に関しましては、防犯登録の対象外となる場合もございます。

※車体に刻印されている車体番号は控えを取り大切に保管してください。

※車体番号は各自転車固有のものです。紛失されましても、弊社ではお調べする事が出来ません。

※車体番号が読み取りづらい等ある場合は、カタチ型(22インチ電動アシスト自転車等)でも登録を行う事が可能です。

※Bicycle-358の車体番号は、BB左側部分(左クランクつけね)に記載。



お求めいただきました自転車には、5年間の安心修理サービスがついております。

当店だけの購入特典！5年間安心修理サービス

点検メンテナンス、故障メンテナンス(自損を含む)を承ります。

安心の特別価格でご修理いたします！

ご修理費2,000円～最大8,000円+往復送料

◎最大の修理料金が設定されているので、安心して修理に出していただだけ、お見積り後の修理も可能です。

※消耗品は別途となります。消耗品に関しては4ページをご確認ください。

- ・修理の自転車を、弊社指定場所へお送りいただく必要がございます。
 - ・弊社へお送りいただきます送料、弊社よりご返却の際の送料はお客様のご負担となります。
 - ・お送りいただく際の商品の梱包は、お客様お手元での梱包となります。
- ※商品をお届けしました際の外箱は保管していただきますと、安心修理ご利用の際にもお使いいただけ便利です。
(下記をご参照ください)

●安心修理サービスの流れ

- ①まずは、お電話かメールにてご連絡ください。その際、お手元に自転車ご購入時の購入店舗名と、ご注文者様のお名前(フルネーム)をご用意いただきますと、ご対応がスムーズになります。
- ②症状をお聞かせください。お受付番号とご返送方法をご案内いたします。
- ③ご案内に沿って、自転車をご返送ください。専門スタッフが自転車を確認させていただきましたあと、ご修理内容とお見積りをご案内いたします。
- ④お見積りにご了承いただきましたあと、ご修理させていただきます。
※お受付時に、症状とご使用期間から概算見積りのご案内も可能です。
その際にお見積りにご了承いただけました場合は、「事前ご了承済み」としてすぐにご修理に取り掛からせていただき、より早く自転車をお手元にご返却できます。
(事前のお見積り金額と実際のお見積り金額が異なり場合は、担当より改めてご連絡させていただきます)
- ⑤ご修理・点検・整備完了後、自転車をお手元にご返却いたします。
※ご修理費に関しましては、発送前のお支払いもしくは自転車到着時のお支払い(代金引換)にてお願いしております。

※故障箇所によっては特殊な部品の手配が必要となるため、ご修理に1ヶ月以上かかる場合もございます。

※ご修理と併せて点検も行わせていただきます。消耗品等に関しましては、お取替えをご案内させていただくこともございます。(消耗品はご修理費と別途有償となります)

※安心修理サービスご利用でのメンテナンスや組み立てサービスも承っております。お気軽にお尋ねください。

※弊社からのご購入ではなく、正規販売店様よりお求めのお客様のご修理に関しましては、保証書(説明書最終ページ)を弊社にご提示いただきましたら、弊社でのご修理も承っておりますが、まずはお求めのショップ様へのお尋ねください。

※消耗品に関しましては(4ページ参照)は別途ご販売もさせていただいております。部品をお求めいただきます際にも、受付番号とお名前(フルネーム)をお聞かせいただけますと、ご対応がスムーズになります。

お届け時の外箱(段ボール箱)に関しまして

- お届けの際に、商品が入っていました外箱(段ボール箱)は、万が一初期不良が発生した場合、ご返品に使用していただく箱となります。お届けから8日間の申請期間中は、必ず保管していただきますようお願いいたします。
- 外箱なしでご返送いただきました場合、ご修理完了後(もしくはご交換の際)弊社で外箱のご用意もしくは梱包をさせていただきます。その場合は、梱包代(500円～1,000円)がかかって参りますので、ご理解とご了承をお願い申し上げます。

① 過剰な充電は、バッテリーの消耗・劣化を早めます！

※長期走行をしない場合は、なるべくバッテリー残量を減らしてから充電するとバッテリーの寿命が長持ちします。

② 長期間乗らない時や、使用頻度が低い時も3ヶ月に一度は充電しましょう！

※バッテリーを長時間放置すると、バッテリーの消耗・劣化が早まります。

③ タイヤの空気圧はこまめにチェック！

※タイヤの空気圧が減った状態で走行するとタイヤに負担がかかり、バッテリーの電力消費が増えバッテリーの減りが早くなります。(また、タイヤ・チューブの劣化も早くなります。)

④ 雨天走行後はメンテナンスをしよう！

※雨天走行時についた水滴や泥・埃は乾いた布で拭いてください。(特に、電気系統付近を乾いた布で拭いてください。故障の防止になります。)

Santasan 自転車5年間安心修理サービス保証書

商品名 : **bicycle-358 assist 電動自転車** 有効保証期間 : ご購入より5年間

お客様

ご住所 〒

お名前

お電話

様

ご購入日： 年 月 日

正規販売店

※正規販売店とは **Santasan** (日本タイガー電器株式会社) と正式な契約をしている販売店のことです。

印

※保証をご希望される場合、**Santasan** (メーカー) にて直接ご購入いただいたお客様は、本保証書と自転車購入の際の納品書でご対応が可能です。**Santasan** (メーカー) 以外の正規販売店でご購入いただいたお客様は、正規販売店欄に必ず店印が必要になります。尚、正規販売店の店印がない場合や正規販売店以外でご購入いただいたお客様は保証対象外となります。この保証書と納品書は、大切に保管してください。

この保証書は、本書を示した期間、条件のもとにおいて修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な点がございましたら販売店までご連絡下さい。